

# 議会だより

平成27年秋号 VOL. 102



議会構成決まる ..... ②

9月定例会

一般会計決算認定 ..... ④

特別措置法による田園住宅建設を  
(一般質問・6名登壇) ..... ⑫

委員会報告 ..... ⑳

睦合幼稚園児  
～大きくそだって～



# 町民と共に歩む議会に

# 議会構成決まる

第11回  
**臨時会**  
10月14日

## 町民により開かれ 期待される議会を

この度の桑折町議会議員一般選挙にて、我々12名が当選させて頂きました。また、10月14日に開催しました臨時会（初議会）にて不肖私共が、正・副議長に就任いたしました。常に、公正・公平を基本とし議会運営に精進してまいります。

また、「桑折町議会基本条例」に則り議会活性化に努め、町民の皆様により開かれた議会を目指してまいります。

さらに、未だ収束が見えない原発事故による放射能汚染対策や国からの地方創生事業など、議会として全力を傾注し取り組んでまいりる覚悟です。

今後共、町民の皆様のご指導ご協力を心からお願ひ申し上げます。

議長 片平 秀雄  
副議長 羽根田 八千代



## 議会広報委員会

議会たより等の編集

委員長 川名 静子  
副委員長 渡邊 英直  
委員 佐藤 武朗  
岩崎 久男

(委員は正・副議長を除き1年交替)

## 議会運営委員会

議会の運営に関する事項

委員長 齋藤 栄三夫  
副委員長 原 賢志  
委員 佐藤 武朗  
川名 静子  
片平 秀雄  
参与 羽根田 八千代

## 一部事務組合選出議員

### 福島地方水道用水 供給企業団議会

定数は11名（福島市5名、伊達市2名、二本松市1名、伊達郡三町各1名）  
片平 秀雄

### 公立藤田病院組合議会

定数は12名（国見町6名、桑折町4名、伊達市2名）  
齋藤 松夫  
佐藤 武朗

原 賢志  
羽根田 八千代

### 伊達地方衛生処理組合議会

定数は13名（伊達市5名、福島市2名、伊達郡三町各2名）  
佐藤 栄三  
岩崎 久男

### 伊達地方消防組合議会

定数は13名（伊達市7名、伊達郡三町各2名）  
川名 静子  
渡邊 英直

## 町監査委員

議会選出監査委員の選任に同意

半澤 高

## 議会常任委員会

### 総務・文教

総務課、税務住民課、政策推進課、会計室、原発事故対策課、教育委員会、選挙管理委員会及び監査委員所管に関する事務

委員長 原 賢志  
副委員長 齋藤 松夫  
委員 半澤 高  
羽根田 八千代  
齊藤 謙

### 産業・厚生

産業振興課、地域整備課、上下水道課、保健福祉課、農業委員会所管に関する事務

委員長 佐藤 武朗  
副委員長 佐藤 栄三  
委員 平井 國雄  
川名 静子  
岩崎 久男  
渡邊 英直

# 平成26年度

# 一般会計 決算認定

# 9月定例会

**歳出 98億9,760万3千円**

**歳入 106億6,301万円**

## 決算の概要

《歳出》翌年度への繰越予算額を除くと、予算執行率が83.4%という状況である。

○ 執行した主な事業

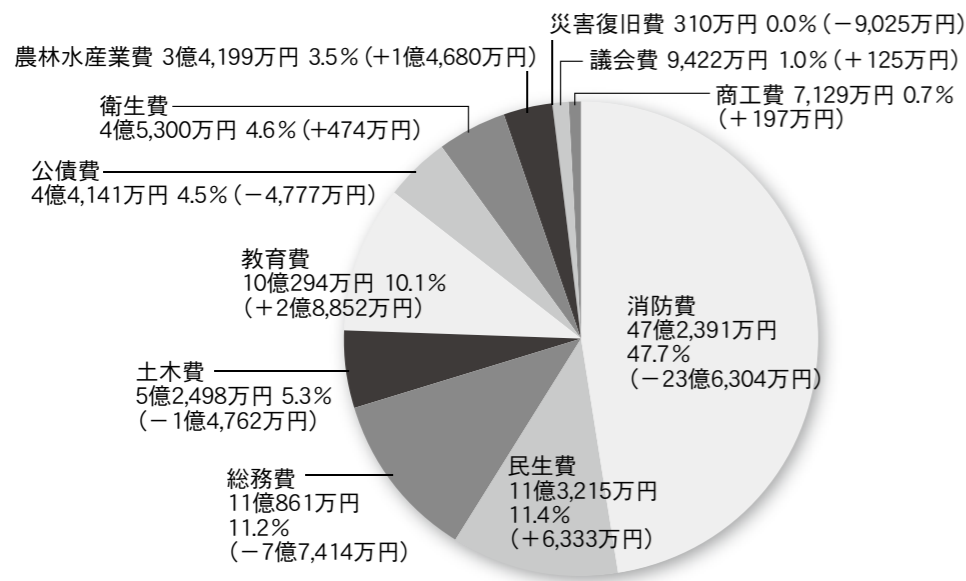
- ・ 放射性物質除染業務
- ・ 福島県営農再開支援事業
- ・ 園芸産地復興支援対策事業
- ・ 学校施設の蓄電装置設置事業
- ・ 災害公営住宅整備事業
- ・ 多目的複合施設建設事業
- ・ 臨時福祉給付金給付事業
- ・ 社会保障・税番号制度システム整備

※予算の執行にあたり、可能な限り国及び県等からの特定財源の確保を図り、持続可能な財政の確立に努められた。

平成26年度桑折町一般会計歳入歳出決算については、歳入決算額106億6,301万円、歳出決算額98億9,760万3千円となり、歳入歳出差引

残額は7億6,540万7千円となった。実質残額は、繰越明許費繰越額1億4,609万5千円と事故繰越し繰越額3億4,975万円を差し引いた2億6,

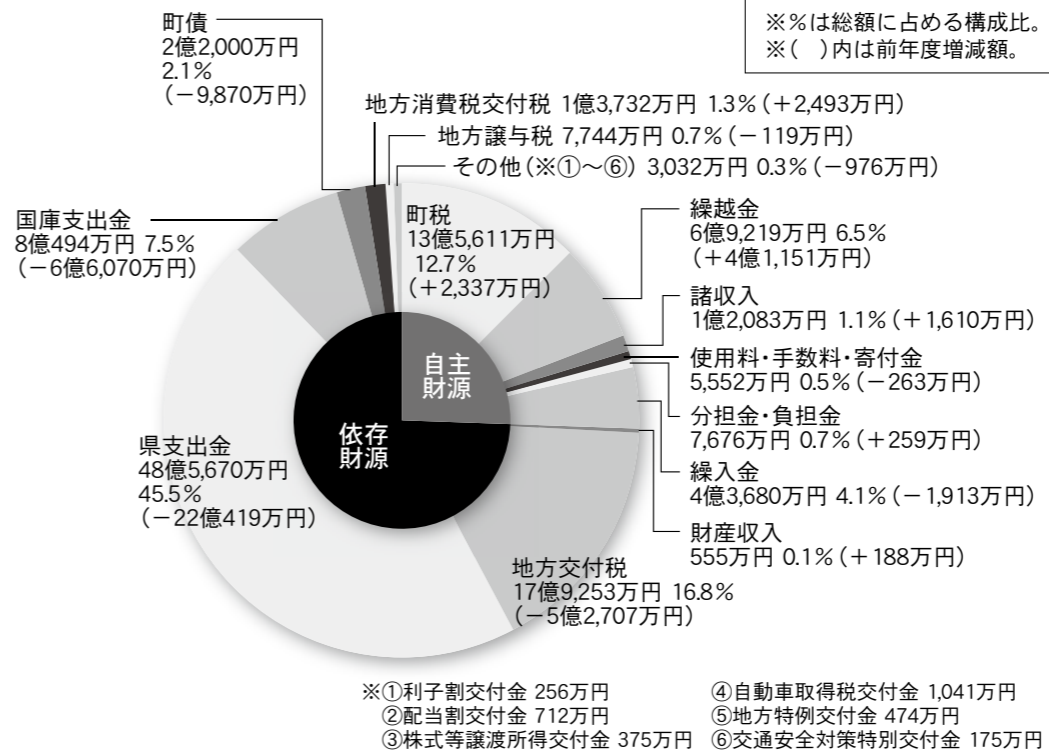
956万2千円となり、1億5千万円を財政調整基金に積み立て、残額1億1,956万2千円を翌年度に繰越処理された。



《歳入》予算現額に対して71億6,898万4千円、率にして40.2%の減となった。

○ 収入増の主なもの

- ・ 地方消費税交付金 2,493万2千円
- ・ 町税 2,337万1千円
- ・ 諸収入 1,610万7千円
- 収入減の主なもの
- ・ 県支出金 22億418万6千円
- ・ 国庫支出金 6億6,070万1千円
- ・ 地方交付税 5億2,707万円



平成27年第9回定例会は、9月1日から11日までの11日間の会期で開催された。提出された議案は、平成26年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定をはじめ各会計の決算認定6件、平成26年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金処分1件、条例改正4件、補正予算2件、報告1件、工事請負契約1件、同意案件1件、発委3件の計19件。すべて原案通り可決・同意した。



# 平成26年度一般会計 総括質疑

佐藤 榮三 議員

## 町道3100号線の早期完成を

問 26年決算で3100号線の測量事業が実施されたが、この道路拡張事業は、伊達崎地区中心地である小学校周辺の開発には大変重要な道路である。平成18年の福島県都市計画法施行条例の改正により、ある一定の要件を満たせば、この地区の開発が可能となり、地域の活性化、少子化対策、人口減少の歯止めにもつながる。所管別でも質疑したが、早期の完成を願うところだ。

答 町長 年次計画で進行中、**地元の理解と財政状況を見極めて完成を目指す**。道路整備が出来れば開発許可制度の要件が満たされるので地元と協議して進めたい。

羽根田 八千代 議員

## 「うぶかの郷」の事業体系は

問 記念事業企画にあたり節間流用がある。行政のプロとして計画的かつ効率的な事務事業の在り方は事業執行の必須条件である。町長の内部指導方針は。また、同施設の事業体系について今後の方針は。

答 町長 事業の成果を上げ初期の目的を達成するため、手法も変えていかねばならない。限られた予算で最大の成果を上げるためご理解を。源泉枯渇の状況で入湯税が無く減収だ。東電補償が無ければ経営が厳しい。老朽化で大規模な工事の必要性が求められ、**今後、可動率を上げるため改善策として「転換期」という認識だが理事会で進め議会とも相談していく**。

決算の総括的評価は

問 実質収支額は2億6,956万2千円となった。町税はH24、26年と微増であり、26年度収納率は96・0%（前年度対比0・9%）とUPしている事は評価する。歳出の翌年度繰越事業費を除くと執行率は83・4%である。26年度決算は適正かつ効率的予算執行であったと評価できるのか。また、課題は何か。

答 町長 消防費《除染関係》を除けば99%であり、**おおむね良好な執行だ**。除染が遅れた原因は、天候と作業員確保だ。更に工業団地、半田山、幹線道水路の除染に努める。



岩崎 久男 議員

開発許可制度の活用を

問 桑折町都市計画マスタープランの見直しの策定を実施されたのは4号線インター周辺の土地利用についてのみであり、都市計画法第34条11号に係る開発許可制度を人口減少や少子化対策として伊達崎、睦合、半田地区において制度活用し検討すべきと考えるが。

答 町長 線引き見直しについては難しいと考えている。法34条11号に関しては**地元の理解が前提にあるもの**と思っている。

## 子育て世代に 経済的支援を

問 子育て支援策のひとつとして実施した園児分の給食無料化は継続されてきたが、小学生まで拡充すべきだ。保護者の負担が軽減するような施策を図るべきと考えるが。

答 町長 今般、地方創生に絡んだ人口ビジョンや戦略策定に当たって実施したアンケートの結果、多くの若い世代の方々は子育てに関する経済的支援を求める結果が出ている。そこに

佐藤 武朗 議員

## 情報セキュリティ研修を全職員に

問 職員の各種研修については、計画的に実施して成果を上げている。その中で情報セキュリティ研修については、情報漏洩問題、マイナンバー制度の導入等、大変関心度の高い研修と考える。この研修は希望者を対象に研修を実施するだけでなく、早急に全職員を対象とした研修計画、また、指導する立場の上位職の方を優先に研修すべきと考えるが。

答 町長 **今後全職員が身につけられるようにする**。まずは、マイナンバー制度の導入に関わる職員、管理職、その後全職員を対象に研修を実施していく。

## 唯一の宿泊施設 今後の整備計画は

問 町民研修センター「うぶかの郷」の施設は、20年が経過し設備等の消耗も相当厳しい。26年度にも2カ所の修繕工事を実

えていくことが大事なことだと考えている。

齋藤 松夫 議員

## 「うぶかの郷」 源泉枯渇対策は

問 決算付属資料に町民研修センター「うぶかの郷」の源泉枯渇対策の記載がない。この対策をどうするのか。温泉復活はあきらめたのか。また、「大かや園」自噴源泉の余剰水活用のための同噴出量の調査はしたか。所有者との話し合いは行っているか。

答 町長 今年当初予算の中で、「大かや園」源泉から大かや園までの送湯管メンテナンスをやって湧出量の正確な数字を把握し、利用できるかどうかの判断を下していきたいと考えている。

## 地区公民館 運営委員会の設置を

問 生涯学習の中心的実施機関として公民館が果たす役割は大きく、地区館長の役割も同様である。その役割発揮のため地区館長に対応する地区公民館運営委員会のようなものが設置され

施し、今後も経年変化による修繕箇所が増えてくると考える。この施設は本町にとって唯一の宿泊施設でもあり、5年先を見据えた整備計画を立て、年次計画での改修工事を進めるべきと考えるが。

渡邊 英直 議員

## 有害鳥獣対策の 人材育成は

問 捕獲実績向上のためには、人材確保が必要とされるがその対策は。また、資格取得については町が主導的役割をはたすべきと考えるが。

答 町長 有資格者の育成は大切であり、人材育成に努めていく。また、**資格取得にかかる経費については、支援を実施している**。有資格者に対する協議会等による支援指導が必要と考えている。

(次ページへ続く)

れば、地区住民が求めている学習課題は何かなどが明らかにになり、そのための事業計画も立てやすくなると思うがどうか。

答 教育長 **生涯学習検討委員会**を来週開催し、協議することとなっている。その中心的議題は公民館活動のあり方であるので、**そのなかで指摘の点について検討していきたい**。

平井 國雄 議員

## 農地管理関係について

問 畑は手間がかかり、高齢化により耕作されない放棄地になっっている。畑の賃借がとも少ない。農地流動化奨励金交付事業が数年前から半額に減額されたままになっているのもひとつの原因ではないか。以前に戻す事が必要と考えるが。

答 町長 農地経営を安定させるため集積を進めていかなければならない。人農地プランを作る事により交付金が発生するので進めている。今、優良農地でさえ借り手が見つらず、シルバール人材センターでも人手が確保できない厳しさがある。**当面現状を維持していく**。

(次ページへ続く)

奨学基金の活用は

問 病院の医師の確保。また、高齢化社会の進行に対応した福祉の充実のための人材確保が必要と考え、奨学基金の活用を考えは。

答 教育長 奨学金の活用については、**広く活用していただけるように周知していく**。福祉・医療関係者の育成については、町出身者の子供達に。また、基本的理念にあえば活用していただけるように考えている。

川名 静子 議員

## 低い執行率は 住民サービスの低下か

問 平成26年度一般会計の執行率は83・4%と低い数字となった。100%近い執行を望んで当初予算を議決したはずだったのに、予算の組み方は良かったのか、事業に関して無理な執行はなかったのか。また、単年度収支が3年連続の赤字に対して改善策の検討はされたのか。

答 町長 執行率だけを捉えれば誤解を受ける近年にない数字である。**除染に関して特に見込みを下回った**。実施してみなけ

ればわからなく、予算編成はむずかしい。町の財政は健全財政を維持している。

## 「桑折らしさ」を醸し出す まちづくりとは

問 都市計画マスタープランの見直し策定も実施され、**今後歴史まちづくり法**を活かし、4号線インター周辺から町中へ誘導を絡ませた街道を活かし、**「桑折らしさ」を醸し出すまちづくり**への考え方は。

答 町長 インター周辺の土地利用は雇用の場の確保と、流通における産業の集積が図られるために新たな調査に踏み出した町中の整備に関しては、市街地の特性、歴史を生かし残された物を象徴として活用していく。

先人が築き上げてきた**文化・歴史、町民が愛着の持てるもの**を残し、行ってみたい、訪れたい桑折町に。「桑折らしさ」は4地区の特性を生かし引き継ぐ事も大事だが、時代に合ったふるさと桑折町づくりも大切な。

改善策の検討はされたのか。



## 農業振興関係について

問 担い手不足及び従事者の高齢化を食い止める策として、就農しながら先進農家等で研修を含め、年間150万円を最長で7年間給付できる、新規就農者支援事業が国で進められている。本町にあっても研究推進していくべきと考えるが。

答 町長 農業従事者も高齢化が進み、厳しい状況におかれている現在、新規参入者がいなくなっている。所得の向上も難しく、他産業と比較しても、低い現状にある。これをカバー出来るようなシステム作りや、情報交換を密にして諸所と連携して行きたい。

## 片平 秀雄 議員

## 町づくり懇談会の開催は

問 毎年6月頃に行われる町づくり懇談会参加者は固定化が見られているとの報告があった。地方創生が進められている現在自治体は行政と町民が一丸となり町独自性を引き出し新たな町づくりが求められている。昨年の町づくり懇談会をどの様に検

証しているのか。また、4地区で開催の検討はされたか。

答 町長 町づくり懇談会は新年度予算が固まり次第説明を兼ね行ってきた。同様に行政連絡員の方々にも説明をしてきた。4地区での開催については今後検討してみたい。

## 新庁舎建設基金の目標額は

問 庁舎建設基金は平成26年度決算で7億5,700万円となっている。築約60年経ち各箇所にも経年劣化がみられる。又本町庁舎は各課が分散されており町民サービスにも支障がある建設検討着手のための目標基金額はどの程度見込んでいるのか併せて何年後を指しているのか。

答 町長 築58年経ち老朽化も著しい。職員の安全確保や住民サービスのためにも検討する。基金目標は約14億円程度とみる。無補助なので特定補助など求め更に規模や財政など考慮し次期総合計画策定時には示したい。

# 平成26年度 特別会計決算認定

## 国民健康保険 医療費の適正化を 国保税の収納率UPへ

《歳入決算額》 14億7,943万9千円  
 《歳出決算額》 13億8,083万3千円  
 《差引剰余金》 9,860万6千円  
 全額翌年度に繰り越した。実質収支9,860万6千円から前年度の繰越金9,306万1千円を減じた実質単年度収支では、554万5千円の黒字だ。

《決算の概要》  
 ・歳入は予算現額に対し1,733万6千円、率にして1.2%の減。主なものは国庫支出金及び県支出金です。  
 ・歳出は予算現額に対し1億1,594万3千円の残で、執行率は92.3%です。主なものは保険給付費8億8,193万7千円、後期高齢者支援金1億8,094万6千円、介

護納付金・地域支援事業支援納付金8,065万9千円で全体の82.8%を占めた。

《国庫事業の運営》  
 早期受診や健康づくりの啓発に努め、被保険者の疾病予防の推進を図りながら、医療費の適正化と国保税の収納率向上に努め、健全財政の維持に努力した。

## 後期高齢者医療 全体の93.9%が 広域連合へ納付

《歳入決算額》 1億5,323万3千円  
 《歳出決算額》 1億5,319万8千円  
 《差引剰余金》 3万5千円  
 全額翌年度に繰り越した。  
 《決算の概要》  
 ・歳入は予算現額に対し209万1千円の減。主なものは保険料及び繰入金です。  
 ・歳出は予算現額に対し212万6千円の残で、執行率は

## 平成26年度 財政健全化・経営健全化の判断比率表

○一般会計	健全化判断比率		
	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	10.3%	25.00%	35.00%
将来負担比率	11.8%	350.00%	—
○水道事業会計及び公共下水道事業会計	平成26年度		経営健全化基準
	比率	名	資金不足率
	—	20.00%	—

・いずれも国の基準を下回っており、健全性は保たれている状況です。  
 ・健全化判断比率の実質赤字比率、連結実質赤字比率、および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないために「-」で記載しています。

## 平成26年度決算審査意見

審査に付された一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書はいずれも関係法令に基づき作成され、計数等もこれら諸帳簿と合致している。  
 事務事業の執行については、前年度に引き続き放射性物質除染対策等事業、災害公営住宅建設や多目的スタジオ・屋内プール施設の整備など、限られた体制の中で一定の成果をあげられたことが認められる。また、予算の執行についてもおおむね適正に執行されていると認められた。  
 本年度における決算状況については、一般会計においては、前年度決算額から歳入で3,042,992千円(22.2%)の減、歳出で2,916,208千円(22.8%)の減と歳入歳出ともに前年度を下回ったものの、東日本大震災による復旧復興事業及び放射性物質除染対策等事業への充当額が、歳入で5,751,838千円(歳入全体の53.9%)、歳出で5,402,088千円(歳出全体の54.6%)と依然として非常に多額であり大きな割合を占めている。自主財源と依存財源の構成比は、震災復興特別交付金等の減少により、自主財源が25.7%で前年度(16.9%)を8.8ポイント上回ったものの、震災復興関連事業の継続により、依存財源の割合が高い状況が続いている。  
 また、一般財源の主なものの推移をみると、町税は、前年より2,371千円(1.8%)増加し、1,356,107千円となったが、地方交付税は前年より5,270,700千円(22.7%)減少し、1,792,527千円、県支出金、国庫支出金もそれぞれ2,204,186千円(31.2%)、660,701千円(45.1%)減少し、4,856,699千円、804,941千円となった。震災復興関連の交付金の減少により一般財源は震災前の水準に近づいていくものと想定され、今後とも大きな伸びは期待できないであろう。  
 一方、歳出面では、継続して対応を必要とする放射性物質除染対策等事業をはじめとする東日本大震災に伴う復興関連事業、加速化する少子高齢化への対応、新旧公共施設の維持管理・更新等々、多種多様な行政需要への対応が求められる。  
 行財政運営にあたっては、適正かつ効率的な予算の執行に徹し、桑折町総合計画「復興おこり創造プラン」の着実な実行により、更なる町勢の発展と住民福祉の向上に努められたい。

桑折町監査委員  
 紺野 賢志  
 原 範明

98.6%です。主なものは後期高齢者医療広域連合納付金1億4,378万5千円で、全体の93.9%を占めた。

## 介護保険 増える保険給付費 12億3,571万円

《歳入決算額》 13億3,039万3千円  
 《歳出決算額》 13億1,720万9千円  
 《差引剰余金》 1,318万4千円  
 全額翌年度に繰り越した。  
 《決算の概要》  
 ・歳入は予算現額に対し1,956万8千円の減。主なものは国庫支出金及び繰入金です。  
 ・歳出は予算現額に対し3,275万2千円の残で、執行率は97.6%です。主なものは保険給付費12億3,571万円で、前年度対比7,459万3千円、率にして6.4%

## 公共下水道事業 年度末人口水洗化率は 90.0%

《歳入決算額》 4億1,710万6千円  
 《歳出決算額》 4億826万5千円  
 《差引残額》 884万1千円  
 《決算の概要》  
 ・歳入は予算現額に対して101万1千円の増  
 ・歳出は予算現額に対して783万円の残となり、98.1%の執行率となった。整備面積は4.77haで、その結果平成26年度末の供用開始面積は144.6haとなり、年度末人口水洗化率は90.0%となった。

年間有収水量は123万7,205m<sup>3</sup>、有収率は81.7%です。前年度対比給水人口は139人の減、年間有収水量で14,892m<sup>3</sup>の増、有収率は0.4ポイントの低下となった。  
 《収益的収支》  
 ・収入 4億1,029万8千円  
 ・支出 3億7,769万8千円  
 ・純利益 3,004万5千円 (税抜き)  
 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う平成24年度水道事業逸失利益について、ADRへの申立てを行い、2,700万円の賠償金を受領した。  
 《資本的収支》  
 ・収入 842万4千円  
 ・支出 1億1,635万1千円  
 ・不足額 1億792万7千円  
 ※当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補填した。建設改良事業は、配水管布設替工事等を実施し安定供給に努めた。

## 水道事業 給水人口が 今年度も減

《決算の概要》  
 給水人口が11,677人、



# 審議されたその他の議案

## 平成26年度剰余金処分

水道事業会計未処分利益剰余金処分

- ・当年度未処分利益剰余金 1億78万円
- 内訳
  - ・減債積立金 1,000万円
  - ・建設改良積立金 2,900万円
  - ・資本金 1,175万7千円
  - ・繰越処分(残額) 5,002万3千円

## 条例改正

### 徹底した情報管理を

町個人情報保護条例の一部改正  
法律が施行されることに伴い、町が保有することとなる特定個人情報情報の適正な取扱いの確保に必要な措置を講ずるための改正

## 討論

### 反対 岩崎久男議員

マイナンバー制度には、多くの問題点が指摘されている。すべての国民に番号をつけ、個人納税や社会保障の情報や国が管理し、さらに預貯金口座や健康診断などの運用を付け加えようとしている。政府は税や保険料などの徴収を強化する狙いがあるといわれている。すべての事業所に重い負担と膨大な資金が必要になり、すべての事業所は従業員だけではなく、その家族の番号も厳格な管理が求められる。システムの改修資金もかかります。この制度は、公的年金の申請の際などで、手間が省けるというが、多くの人にとって年に一度あるかないかの手続きで個人の情報の流出によって、またさらされる被害の方がはるかに深刻です。このことを指摘して、日本共産党議員団は反対の態度をとるものです。

### 賛成 川名静子議員

今までこの制度がなくとも何ら支障を感じてこなかった。一人の人間を番号で管理する。人としての人権をどのように捉えているのか疑問です。

しかし、「公平・公正な社会の実現」「国民の利便性の向上」等の理由からの国の制度です。で、国民の理解度もまだまだ得られず、不安なままではあるが受けざるを得ない事と思います。今後において、この制度の周知徹底を図ると共に、絶対に事故・問題の起こらない管理をし、役場を信じている町民の安心安全を確保するため、万全を期して事務にあたって欲しい事を申し添え、本意ではあるが賛成とします。

### 賛成 片平秀雄議員

国のマイナンバー法の施行に伴い既存の桑折町個人情報保護条例を改正する条例です。現在進めているマイナンバー制には、その取扱いや管理面など様々な

## 補正予算

補助率100%  
果樹改植事業1・2倍の予算

### 一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億8,443万5千円を追加し、予算総額を82億9,003万1千円とするもの。

#### 《歳入の主なもの》

- ・コミュニティ復活交付金 2億109万3千円
- ・地方交付税 1億2,200万4千円
- ・長期避難者生活拠点形成交付金基金繰入金 1億54万7千円
- ・幼稚園施設整備事業債 5,100万円
- ・福島県営農再開支援事業補助金 4,480万円
- ・臨時財政対策債 2,790万円
- ・福島再生加速化交付金 1,811万7千円
- ・公営住宅整備事業債 1,432万1千円
- ・ふくしま森林再生事業交付金 1,027万2千円
- ・保育所入所負担金 294万4千円

#### 《歳出の主なもの》

- ・子どものための教育・保育給付費国庫負担金 156万9千円
- ・基金管理費 2億109万3千円
- ・災害公営住宅整備事業費 1億1,491万1千円
- ・幼稚園整備事業費 6,929万4千円
- ・営農再開支援事業費 4,480万円
- ・ため池等放射性物質対策事業費 1,811万7千円
- ・ふくしま森林再生事業費 1,340万円
- ・徴収事務費 750万円
- ・保育所管理運営費 514万7千円
- ・子育て支援事業費 393万5千円
- ・公営住宅管理費 190万円
- ・公民館施設維持管理費 132万4千円
- ・介護保険特別会計(保険事業勘定)(第2号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,318万4千円を追加し、予算総額を14億5,298万1千円とするもの。
- 《歳入》
  - ・繰越金 1,318万4千円

## 報告

### 《歳出》

- ・償還金及び還付加算金 1,124万1千円
- ・繰出金 194万3千円

## 陳情審査結果

外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

### 〔陳情者〕

福岡県行橋市今井3713-1 小坪 慎也

### 〔審査委員会〕

総務文教厚生常任委員会

〔審査の結果〕不採択

問題があるようにも思います。だからこそ導入された後の町民の個人情報適正な取り扱いのためにも、また諸問題への対応のためにも条例改正は必要不可欠だと思います。

### 再交付には800円の手数料が

町手数料徴収条例の一部改正  
行政手続において、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料に関する規定の追加改正

## 討論

### 反対 岩崎久男議員

マイナンバー通知カード及び個人番号カードを再交付する際の徴収する手数料についても、議案第54号についての態度表明と同じく反対と致します。

## 同意案件

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて  
教育委員羽根田忠一委員の辞職に伴い、残任期間(2年0月)の後任委員に同意した。

鈴木 キヨ子

大字南半田字六角14番地  
昭和32年6月11日生

## 工事請負契約

### 工業団地内の除染土砂等を

「除染土砂等仮置場(成田二本木)設置工事請負契約の締結

1. 契約の目的  
除染土砂等仮置場(成田二本木)設置工事
2. 契約金額  
8,056万8千円

3. 契約の方法  
条件付一般競争入札
4. 契約の相手方  
住所 谷地字北道合5番地の8  
氏名 根本建設株式会社  
代表取締役 根本 良久

町長期避難者生活拠点形成交付金基本条例の一部改正  
福島県復興再生特別措置法の改正に伴うもの。

町消防団設置等に関する条例の一部改正  
平日日中の火災に対応するため、消防団OBを活用。機能別消防団を設立するための改正。

## 議会提出の条例改正

議会委員会条例の一部改正

総務文教厚生常任委員会の所管から「保健福祉課を削り、産業建設水道常任委員会へ加え名前を変更する。

回総務文教厚生↓新総務文教回産業建設水道↓新産業厚生

一日2,200円を支給

議会広報委員会委員の費用弁償に関する条例の一部改正  
「…当分の間、委員会に出席した時は支給しない。」を「議会広報委員会の費用弁償を支給すること。」に改正する。

## 議会提出の規則改正

議会議事規則の一部改正

第2条に次の1項を加える。  
「議員が出産のため出席できない時は、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。」







佐藤 榮三 議員

### 特別措置法による田園住宅建設を 地域の合意により推進する



— 整備がさき、急げ！ —

**問** 町の人口比率を見ると、若年層は、益々減少の一途をたどっている、更に幼稚園の統合が進められている状況である。次は小学校かとの不安も募る。都市計画上、伊達崎小学校区内には新規住宅建設は出来ないが、特別措置法による田園住宅を導入し、学区内の活性化に繋げていくことが出来ないか。地域に学校がなくなることは、限界集落の始まりかと頭をよぎ

**答** 町長 現在、調査測量が終了しているため、今後用地買収、本工事と進めていくので地元の協力があれば3〜4年で完成できると思う。

### 農協入口町道の付け替えの検討は 来年の搬入時期までに検討する

**問** 県道保原伊達崎桑折線からの農協入り町道は、伊達崎・半田地区のほとんどの人が農産物の搬入などに利用している。先の地震で路盤が変形しており、大型車両の出入りも多く、町では補修をたびたびしているが、すぐに傷んでしまう。桃の搬入時期は特に混雑する。そこで、農協への進入路を雇用促進住宅の南側に新設、付け替えるなどして、より安全・安心、確実な環境で献上桃の搬入が出来るように検討すべきと思うが町長の所見を伺う。

**答** 町長 町道3253号線は、通常の修繕では対応出来ない事から、出水対策を施し舗装構造を見直すなど根本的な改修をしている。そのため、付け替え又は新設については考えていない。来年の搬入時期までは、関係企業、農協とも協議しスムーズな搬入が出来るように検討する。

# 一般質問

## ズバリ町政を問う60分

6名登壇

- 一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- 内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- 質問項目は、通告によるものです。

登壇議員	質問項目	登壇議員	質問項目
岩崎久男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島切り捨て許さず、町民に寄り添った復興推進について</li> <li>・東京電力に対する損害賠償請求について</li> <li>・訪問介護、通所介護の介護保険適用除外対策について</li> <li>・TPP交渉及び「農協法改正案」への態度について</li> </ul>	佐藤 榮三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の風評被害払拭と地域活性化について</li> <li>・農道改良による合理的な利活用について</li> </ul>
齋藤松夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法違反の戦争法案（安保法制）への見解表明について</li> <li>・「再生可能エネルギー推進の町宣言」に基づく行動の具体化について</li> <li>・有害鳥獣対策における「侵入防止柵」設置のあり方について</li> <li>・公営住宅の長寿命化計画作成について</li> <li>・臨時・非常勤職員の待遇改善について</li> </ul>	川名 静子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営に関して</li> <li>・空き家対策に関して</li> <li>・地域包括ケアシステムへの取り組みに関して</li> <li>・「まゆたま」活用に関して</li> <li>・雇用促進住宅買収に関して</li> </ul>
片平秀雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民への行政サービス業務について</li> <li>・調整区域内の空き家活用と移住緩和について</li> </ul>	羽根田 八千代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑折町有害鳥獣被害防止資材購入事業施設設置の進捗状況と課題は</li> <li>・除染の進捗状況と中間貯蔵施設への搬出計画について</li> <li>・多子軽減事業の更なる拡充と施設増設計画の進捗は</li> <li>・イコーゼ！の運営について</li> <li>・《歴史まちづくり法》の具体的進捗状況は</li> </ul>





川名 静子 議員

### 中央公民館の役割って何？ 町全体の社会教育を推進すること

**問** 公民館は町民のための生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、町民の教育の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としていることから、これまでの経過を踏まえ公民館の果たす役割について次の5点を伺う。

(1) 基本計画は予定通り9月に完成か。

(2) 中央公民館長の配置と4地区館長の役割は。

(3) 中央公民館の機能は活かされているか。

(4) 地区館の管理、特に調理室設



— 調理室？それとも物置 —

備の整備は。

(5) 桑折公民館への「土足のままでの入館」希望は可能か。

**答** 教育長 (1) 9月策定は困難だ。委員会、内部会議を重ね12月中の策定に向け全力で取り組む。(2) 策定中の基本計画の中で検討。(3) 町全体の社会教育推進の機能面では不十分であった。(4) 経年劣化による傷みが目立っているが利用者に支障がないよう維持補修し供していく。(5) 床面の管理上むずかしい。が、1階事務室隣りを会議室の利用に供したい。

### 町営住宅数は計画上すでにオーバーだ 1万円位の入居料も人口減少対策だ

**問** 築33年が経過している雇用促進住宅を「購入する方向で検討中」との回答をされた。リフォームをどこまでやるか、あと何年使うつもりか、維持費を含め試算されたのか。また、住生活基本計画には、町営住宅は115戸。災害公営住宅22戸が計画の中の戸数だ。浪江町民分の25戸、さらに39戸の災害公営住宅を合わせるとすでにオーバーしている。リスクより効果だと言われる理由・必要性を伺う。

**答** 町長 耐震診断もクリアしておりあと20年くらいは使える。年に100名位ずつ減っている中で、1万円位の安価な料金で、生産年齢、子育て世帯に利用してほしい。政策的な人口減少対策の一つだ。「子育てするならば桑折町」で人口を増やしていく。

#### これも質問

**問** 空き家の実施調査はいつからか

**答** 協議会を設置し28年頃から

**問** 初期の認知症者へ、地域住民の係わり方は

**答** すべての住民が相互に支え合うこと

**問** 街道に合った「まゆたま」の活用は

**答** 現在検討中



羽根田八千代 議員

### 有害鳥獣被害防止対策は町主体で 制度を熟知し、検証する

**問** 町が購入した防護柵等の資材を利用し、鳥獣による被害を地域ぐるみで防止するモデル事業の進捗状況について次の点を伺う。

(1) モデル地区は現在上成田町内会のみ申請だが、進捗状況は。

(2) 対象地区が申請しない、あるいは出来ない現状の課題は何か。

(3) 国の方針は、町が主になり事業展開しても補助対象だ。町主体に方針転換をすべきでは。

**答** 町長 (1) 桃の収穫が一段落した後に速やかに進める。(2) 地域の方々による設置及び設置後の維持管理が要因だ。(3) 制度を熟知し、町が主体となる手法や受益者の要望にそって、モデル地区にふさわしい検証をしながら施工・手法に取り組む。

### 多子軽減と施設増設の進捗は 総合的検討と9月申請予定

**問** 先般議会で視察した島根県邑南町は、子育て日本一の町として、保育料は国基準の6割、第二子以降完全無料であった。更に病児保育等病院・医院で対応可。効果として出生率UP。移住者も増加していた。私が、以前より提案していた事業がすでに実施され、効果を発揮している事から次の点を伺う。

(1) 先進事例同様とはいかずとも、第三子より対象とすべきでは。

(2) 6月中林野庁に申請する予定だった園舎増設計画の進捗は。

**答** 町長 (1) 全庁的に取り組んでいる桑折町地方創生・人口減少対策推進本部会議や外部委員会で構成する有識者会議の中で、就学前教育費の負担軽減について、多子軽減事業だけにとらわれないこと総合的に検討する。(2) 県森林振興課復興事業へ9月申請予定だ。



— たのしいなあ —

#### これも質問

**問** イコーゼ！のシャワー不足や監視委員の指導体制は

**答** 目的に合致するような設計であり、業務遂行の徹底を図る

**問** 除染の進捗状況と中間貯蔵施設への搬出計画は

**答** 早期搬出を国に強く要望する

**問** 《歴史まちづくり法》の具体的進捗状況は

**答** 推進会議において作業を進め、来年3月の認定を目指す





岩崎久男議員

### 東京電力(株)損害賠償請求は 早急に顧問弁護士と相談し対処



— 年度内解答を —

**問** (1)水道事業に係る損害賠償額平成23・24・25年度分で、総額8,103万を支払わせてきた。26年分も営業収益に関わる、損害が生じた場合には、当然請求すべきと考えるが、(2)「うぶかの郷」の営業損害は直接請求し、平成23・24・25・26年9月まで総額5,133万円入金されている。10月以降についてはどのように進捗しているか。(3)本年3月18日職員の人件費等の損害賠償額平成22年から25

年度分3億89万円を直接請求されたが、東京電力の回答は、平成26年度の決算にも発生しているため引き続き請求していく。(2)うぶかの郷の営業損害賠償額は平成26年10月から27年6月まで973万円入金され、7月分以降も請求していく。(3)3月に実施した、一般会計損害賠償請求に対し、これまでのところ、東京電力から何ら返答がないので早急に顧問弁護士と相談の上対処していく。

### TPP交渉は即時撤退を 国民との約束を守るべき

**問** TPP交渉において、農林水産分野「重要5品目」を守ると言いながら、牛肉豚肉等の関税大幅削減、米の輸入枠拡大などで政府が譲歩していると伝えられている。TPP交渉は「漂流」との評価もあるが国会決議を無視した秘密主義をやめさせ即時撤退を求めるべきであると考えが所見は。

**答** 町長 TPP交渉については、本町の基幹産業である農業だけではなく、国民の食とくらしと命にかかわる問題と強く認識している「重要5品目」について、ぶれない交渉を進め、広く国民に情報公開するなど、国民合意を強く意識して交渉にあたるべきと考えている。

#### これも質問

**問** 福島切り捨て許さず、町民に寄り添った復興を

**答** 東京電力は被害に見合った賠償を

**問** 訪問、通所介護の保険適用除外対策は

**答** 社会福祉協議会やNPO法人と検討中

### 臨時・非常勤職員の待遇改善を 近隣市町同様に対処している

**問** 臨時・非常勤職員の待遇は低賃金であることをはじめ、劣悪な労働条件の下におかれており、「官製ワーキングプア」との厳しい批判がある。この改善は、住民の福祉向上にあたる自治体として避けて通ることのできな課題である。検討している今後の改善策を伺う。

また2014年7月4日の総務省通知「臨時・非常勤職員及び任期付き職員の任用について」を、どのように受け止めているか伺う。

**答** 町長 臨時・非常勤職員の賃金改定については、近隣市町同様、一般行政職の初任給の改定率をもとに行っているところだ。また総務省通知については適正に対処している。



齋藤松夫議員

### 有害鳥獣対策の抜本的強化を 実効ある対策を多方面から検討



— イノシシのしわざ —

**問** 有害鳥獣対策の抜本的強化のため4点伺う。

(1)有害鳥獣対策を名実ともに重点施策と位置づけ、交付金頼みでなく町として必要な予算を計上し、推進体制を確立すること。

(2)「獣害対策マスタープラン」を作成し、侵入防止柵設置は町主導で行うこと。

(3)具体的には「集落丸投げ」をやめ、「町の直接施工」や「スパーやなみ型」施工など、多

様な形態を組み合わせることで、(4)農業を守るにとどまらず、地域社会を守る観点に立ち、侵入防止柵設置の合意形成は地区全体を対象にすすめること。

**答** 町長 対策強化については議員おただしの通りである。今後実効ある方策を多方面から検討していく。

#### これも質問

**問** 憲法違反の戦争法への見解は

**答** 集团的自衛権行使に危惧の念を抱いている

**問** 公営住宅長寿命化計画作成の時期は

**答** 平成29年までに作成

**問** 再生可能エネルギー推進の町宣言の具体化は

**答** 再生可能エネルギー導入ビジョン策定により具体化へ





片平 秀雄 議員

### 役場での接遇対応は マニュアルを作成し周知徹底

**問** 近年行政機関は多岐にわたる町民サービス業務が求められるに多様化、複雑化している。また役場機構も変わり戸惑う町民もいる。特に高齢化社会を迎えた今日、ますます役場を頼り来庁者が増えると思う。町民に寄り添う行政としての役場窓口接遇対策について次の5点を伺う。

- (1) 接遇向上委員会設置とあるがいつ設置されて開催したか。
- (2) 接遇対策は税務住民課ではなく総務課の所管と思うが。
- (3) 接遇向上の指導方法は。
- (4) 共通マニュアルの存在は。
- (5) 庁舎総合案内係等の検討は。

**答** 町長 (1)接遇向上委員会は設置していないが講師による研修会を定期的に行っている。(2) 研修講習は総務課が今後行う。(3) 外部講師を招いて全職員対象に定期的に行う。(4) 平成24年に作成し周知徹底をしている。(5) 総務課に改めて総合案内看板を設置する。

**問** 人口減少対策と定住促進への取組は他町においても活発に行われている。特に農村部の調整区域は減少傾向が多くみられる空き家や遊休農地もみられる。条例等の壁もあるが本町独自施策をいち早く打ち出す事も重要と思う。そこで次の4点を伺う。

- (1) 空き家等対策の推進に関する特別措置法に準じた本町の計画策定及び協議会の進捗状況は。
- (2) 農家要件が引き下げられたが意図は。
- (3) 農家移住希望者への要件緩和策検討は。
- (4) 本町への移住希望者に対しての相談窓口設置は。

**答** 町長 (1)計画作成及び協議会は空き家実態調査終了後設置。(2) 新規就農者促進、農地保全や有効利用等の点から地域の実態に合わせ要件緩和ができる様になった。(3) 農地取得は機械設備や積極的な農家経営条件が必要。(4) 居住は総務課が担当、調整区域内の移住は農業委員会所管。

### 農家空き家と農地取得は 積極的な農家経営要件が必要



— 活かしてくれ —

## 臨時会

### 第7回、7/10(金)

平井光一議員が平成27年7月4日逝去されたことにより、議会の選任の監査委員に欠員が生じたことから、同意1件が提案された。

### 同意

#### ◇「町監査委員の選任」について

住所 万正寺字倉本22番地  
氏名 原 賢志  
昭和34年6月24日生

### 選挙(第2号)

公立藤田病院組合議会議長を指名推薦により次の者に決定した。  
岩崎 久男 氏

### 釀小に 落雷受変電設備緊急修繕

### 第8回、8/6(木)

一般会計補正予算1件が提出され、原案通り可決した。

### 補正予算

#### ◇一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ203万8千円を追加し、予算総額を78億559万6千円とするもの。

《歳入》

- ・基金繰入金 203万8千円
- 《歳出》
- ・総務管理費 22万5千円
- ・社会福祉費 78万円
- ・小学校費 85万円
- ・社会教育費 18万円

### 第10回、10/9(金)

条例改正1件、補正予算1件の計2件が提出され、原案通り全会一致で可決した。

### 消防団OBの力を借りて

### 条例改正

#### ◇消防団設置等に関する条例の一部改正

消防団の柔軟な組織運営を行うための改正で、定員を390人に改める。

### 遊具がたくさん そろったよ!

### 補正予算

#### ◇一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,453万2千円を追加し、予算総額を83億4,456万3千円とするもの。

《歳入の主なもの》

- ・福島県被災した子どもの健康生活対策等総合支援事業補助金 2,266万6千円
- ・東日本大震災復興支援基金繰入金 1,133万4千円
- ・前年度繰越金 883万2千円
- ・災害復旧事業債 850万円
- ・道路橋梁災害復旧費負担金 320万円

《歳出の主なもの》

- ・体育施設費 3,400万円
- ・道路橋梁災害復旧費 1,169万8千円
- ・小学校管理費 658万円
- ・農業振興費 133万5千円
- ・財産管理費 46万2千円
- ・ふるさとづくり事業費 35万1千円
- ・議会費 10万6千円

### 議案審議結果表

議案項目	議員名	半澤高	片平秀雄	松山善二	平井國雄	原賢志	川名静子	佐藤榮三	羽根八千代	齋藤松夫	佐藤武朗	岩崎久男	渡邊英直
第7回臨時会													
選挙第2号	公立藤田病院組合議会議長選挙												
同意第3号	桑折町監査委員の選任について												
第8回臨時会													
議案第52号	平成27年度桑折町一般会計補正予算(第4号)												
第9回定例会													
報告第5号	平成26年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について												
認定第1号	平成26年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について												
認定第2号	平成26年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について												
認定第3号	平成26年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について												
認定第4号	平成26年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について												
認定第5号	平成26年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について												
認定第6号	平成26年度桑折町水道事業会計決算認定について												
議案第53号	平成26年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について												
議案第54号	桑折町個人情報保護条例の一部を改正する条例												
議案第55号	桑折町手数料徴収条例の一部を改正する条例												
議案第56号	桑折町長期避難者生活拠点形成交付金基金条例の一部を改正する条例												
議案第57号	桑折町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例												
議案第58号	平成27年度桑折町一般会計補正予算(第5号)												
議案第59号	平成27年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)												
議案第60号	除染土砂等仮置場(成田二本木)設置工事請負契約について												
同意第4号	桑折町教育委員会委員の任命について												
第10回臨時会													
議案第61号	桑折町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例												
議案第62号	平成27年度桑折町一般会計補正予算(第6号)												

○：賛成 ●：反対 □：討論者 欠：欠席



# 議会活動状況報告 平成27年6月定例会以降

年月日	活動状況	内容	出席者
27.6.23	例月出納検査 桑折町水防協議会	定例検査 桑折町水防計画書等について協議	選出委員長 正副議長 長総文厚委員長 産建水委員長 全議員
24.7.26	町議会議員視察研修	島根県邑智郡邑南町 鳥取県八頭郡智頭町	全議員
29.7.1	議会広報委員会 桑折町放射能対策推進町会議幹事現地視察	議会だより夏号の編集 東京電力福島第二原子力発電所を視察	選出委員長 正副議長
6.7.6	議会広報委員会 伊達地方消防組合議会全員協議会 平成27年伊達地方消防組合議会第1回臨時会	議会だより夏号の編集 議事日程、議案内容等の説明 平成27年度伊達地方消防組合一般会計補正予算(第1号)	選出委員長 選出議員 選出議員
8.7.8	議会広報委員会 議会広報委員会 各町議会議長会議	議会だより夏号の編集 議会だより夏号の編集 本会役員(国見町議長の改選に伴う)の選任について、県町村議会議長会役員(理事)の選出について、第10回伊達郡町議会議員大会について	選出委員長 選出議員 正副議長
10.7.10	議会運営委員会 議会全員協議会 第7回臨時会本会議	第7回臨時会議事日程等について 第7回臨時会議事日程等について 公立藤田病院組合議会議員選挙、桑折町監査委員の選任について	選出委員長 全議員 全議員
15.7.15	議会広報委員会 宮城県川崎町議会特別委員会視察研修対応 公立藤田病院組合議会全員協議会 平成27年第2回公立藤田病院組合議会臨時会	議員定数問題調査についての視察研修への応対 議事日程、議案内容等の説明 議長の選挙について	正副議長 選出議員 選出議員
17.7.17	議会全員協議会 議会政務調査会現地視察 震災復興調査特別委員会現地視察 第10回伊達郡町議会議員大会	6月定例会の総括、議会議員視察研修の総括 川俣町小島地区有害鳥獣防護柵の現地視察(伊達郡川俣町) 福島りょうぜん市民共同発電所の現地視察(伊達市霊山町) 桑折町議会から「一般国道の建設促進及び主要地方道一般県道の整備促進について」「有害鳥獣対策の強化について」「地域医療の確保について」を要望	全議員 全議員 選出委員 全議員
21.7.21	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
22.7.22	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
23.7.23	例月出納検査	定例検査	選出委員
24.7.24	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
27.7.27	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
28.7.28	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
29.7.29	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
31.7.31	定期監査・決算審査	平成26年度予算に関する定期監査・決算審査	選出委員
8.8.3	定期監査・決算審査概評報告 福島県町村議会議長会 事務局長研修会	定期監査・決算審査についての監査委員講評 住民に期待される議会とは 講師 法政大学法学部教授 廣瀬 克哉 氏 これからの日本政治と地方創生 講師 NHK福岡放送局長 坂本 勝 氏	選出委員長 正副議長
5.8.5	福島県町村議会議長会理事・監事合同会議	平成27年度定期総会議決事項の執行運動について 外	議長
6.8.6	議会運営委員会 議会全員協議会 第8回臨時会本会議	第8回臨時会議事日程等について 第8回臨時会議事日程等について 平成27年度桑折町一般会計補正予算(第4号)	議長 議長 議長
12.8.12	福島地方水道用水供給企業団来町対応	臨時会の議案内容説明等	議長
20.8.20	福島地方水道用水供給企業団議会臨時会	福島地方水道用水供給企業団監査委員選任の件	議長
21.8.21	福島県町村議会議長会 国に対する要請活動	復興大臣、自民党復興加速化本部長、本県関係国会議員に対する要請活動	議長
24.8.24	議会運営委員会 伊達地方消防組合議会先進地調査	9月定例会議事日程等について ・長野県松本広域消防局 御嶽山火山活動概要、消防広域化 ・長野県北アルプス広域消防本部 御嶽山火山・白馬地震活動概要について	選出議員 選出議員
26.8.26	例月出納検査	定例検査	選出議員
27.8.27	議会全員協議会 第37回震災復興調査特別委員会	常任委員会の所管等について 特別委員会調査報告書について	全議員 全議員
31.8.31	福島地方水道用水供給企業団8月議会定例会	平成27年度補正予算、平成26年度決算認定	議長
9.9.1	議会全員協議会 第9回定例会本会議	9月定例会議事日程等 ・平成26年度一般会計、特別会計、水道事業会計決算認定総括説明等 ・財政健全化比率、資金不足比率報告 ・決算審査結果報告	全議員 全議員
2.9.2	議会全員協議会 第9回定例会本会議	議案内容の説明 9月定例会(第2日)議事日程等 一般質問5名	全議員 全議員
3.9.3	議会全員協議会 第9回定例会本会議	9月定例会(第3日)議事日程等 ・一般質問1名 ・平成26年度一般会計、特別会計、水道事業会計決算認定説明	全議員 全議員
4.9.4	総務文教厚生常任委員会 産業建設水道常任委員会 議会全員協議会 第9回定例会本会議	陳情調査、所管事務調査 所管事務調査 9月定例会(第4日)議事日程等 条例改正4件、平成27年度一般会計・特別会計補正予算 計2件審議採決、	選出委員 選出委員 全議員
7.9.7	議会全員協議会 第9回定例会本会議	9月定例会(第7日)議事日程等 平成26年度予算決算認定常任委員会所管別質疑(総務文教厚生常任委員会)	全議員 全議員
8.9.8	議会全員協議会 第9回定例会本会議	9月定例会(第8日)議事日程等 平成26年度予算決算認定常任委員会所管別質疑(産業建設水道常任委員会)	全議員 全議員
9.9.9	議会全員協議会 第9回定例会本会議	第9回定例会(第9日)議事日程等 平成26年度一般会計決算認定総括質疑、討論採決	全議員 全議員
11.9.11	議会全員協議会 議会運営委員会 第9回定例会本会議	第9回定例会(第11日)議事日程等 追加議事日程について ・平成26年度特別会計決算認定総括質疑、討論採決 ・追加議案審議採決(契約1件、同意1件、陳情1件審議採決)	全議員 選出委員 全議員

# 第10回 伊達郡町議会議員大会

7月17日 おじまふるさと交流館

本町・川俣町・国見町の町議員が参加し、各町議会より提出された国、県に對しの要望書、7件が全会一致で承認された。

また、地方活性化を図るためにも、分権型社会にふさわしい地方の税財政基盤を確立する必要がある旨の決議と、東京電力福島第一原子力発電所事故に関する特別決議もそれぞれ全会一致で採決した。

引き続き、NPO法人ロークル・グランドデザイン理事

の坂本誠氏による「人口減少問題」と「地方創生」を考えるための視点で講演が行われた。その後講師を交えての各町議員との意見交換会が実施されました。

《桑折町関連提出要望事項》

- 一般国道の建設促進及び主要地方道・一般県道の整備促進について
- 有害鳥獣対策の強化について
- 地方医療の確保について



## 委員会報告

### 議会運営委員会

#### 議会基本条例の具現化は

1. 調査事件
  2. 調査目的
  3. 調査経過(略)
  4. 調査結果
- 所掌事務調査報告内容の実践・検証のため
- (1) 議会基本条例制定及びその後の具現化の取り組みは、大震災及び原発事故対策のなかでのものとなり、

不十分なものとならざるを得なかった。よってこの具現化、すなわち議会基本条例に基づく議会活動の推進は、今後ともねばり強く追求していかねばならない。

(2) 定例会及び臨時会における充実した審議は、閉会中の調査や研究、自己研鑽にかかっていることを常に自覚しておく必要がある。

## 広報委員会

### 私たちが一年間担当します

さらにはわかりやすい  
伝わる「議会だより」に

この度の改選により、広報委員会のメンバーも変わりました。桑折町議会の特徴である、全議員による「議会だより」作成の伝統を守りながら、町民の皆様方からのご意見等もいただき、さらにわかりやすく、伝わる広報作りに努力してまいりますので、宜しくお願い致します。



# 委員会報告

## 震災復興調査特別委員会

### ―安心して暮らせる町に―

震災発生後、町民の生活を守るため本委員会を設置し、平成25年9月に中間報告をした。その後の調査結果を今定例会に最終報告をし、特別委員会を終了した。

#### 1. 調査事件

東日本大震災対策について

#### 2. 調査目的

東日本大震災対策確立のため

#### 3. 調査経過(略)

#### 4. 調査結果

災害復旧においては一定の推進がはかられてきた。原発事故からの脱却は先が見えない状況にあり、今後も長く続くことが予想される。町民の安全で安心な生活を取り戻すためには、町と共に全力を傾注して取り組まなければならないとする中間報告を行った。それ以降の調査結果を報告します。

第28回から第38回委員会も、引き続き除染計画(住宅、工業

団地、半田山自然公園、防火貯水槽等)進捗状況調査、汚染土砂仮置場設置状況、平沢仮置き場への搬入・搬出経路など、町民の安全で安心な生活を取り戻すための調査をすすめてきた。仮置き場は関係者協力のもと40ヶ所設置され、住宅除染は全て完了、今後は工業団地、半田山・沼周辺及びキャンプ場、未除染公道等の作業が進められる。損害賠償問題では、「商工業者に対する原発事故営業損害賠償打ち切り方針(素案)の撤回を求める意見書」の提出も行った。また、原子力に頼らない安全なエネルギー「再生可能エネルギー」についての調査も行い、「エネルギー研究機構コーデー

ネーターや福島大学教授、民間専門事業者などを招聘し研究すると共に、市民による共同発電所の視察や、再生可能エネルギー導入の検討調査も行った。平成27年第3回桑折町議会臨時会では「再生可能エネルギー推進の町」宣言がされ、本町にとって再生可能エネルギー導入への大きな一歩が踏み出された。「再生可能エネルギー」はエネルギー安全保障の観点からも低炭素社会の実現など環境に負荷が低いとされる重要なエネルギーである。特に太陽光発電は、一般家庭の屋根などにも設置ができ、貴重な電気を発生させることができる裾野の広い発電システムである。しかし、コストが高いという課題等もある。今後、設備投資が短期で回収できるような技術革新を見極め、国県補助制度なども活用し本町に相応しい自然エネルギー普及促進に努めなければならない。本委員会としては、今後も東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の完全収束までの対応と事故以前の生活の確保、併せて再生可能エネルギー導入の実現が図られるよう更なる調査を望み報告とします。

## 編集後記

大震災と原発事故から4年7ヶ月経過し、爽りの季節を迎え鮮やかに色づいたリンゴ、たわわに実った柿。いまだに実害や風評被害に、苦しむ農家のみなさんの切実な思いに寄り添い、事故前に取り戻さなければとの思いがつのります。

「町民と共に歩む議会に」の思いのもと新たな任期がスタートしました。

岩崎 久男

### ■広報委員会

委員長 川名 静子 委員 佐藤 武朗  
副委員長 渡邊 英直 委員 岩崎 久男

## まわりの歳時記 ~極上の味が楽しめる~



### 議会だより

平成27年11月4日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会  
責任者 片平 秀雄  
編集 桑折町議会広報委員会  
電話 (024) 582-2113  
印刷 (株)神尾印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>